

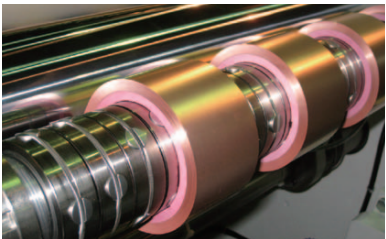
スリッター開発で数々の特許を取得！ サラシラップ・粘着テープなど 身近な巻取技術

高進製作所

高進製作所(大田区鶴の木、高荷喜三社長、03・3750・1525)は、フィルムおよび金属箔の加工機械(スリッター)開発・製造を手がけ、その各部カッターや巻取軸も販売している。現在ではオフイスの定番となった、シールを剥がせばワンタッチで封緘できる封筒の、糊を付ける機械を初めて開発した企業である。

連続切断し、ロールやリールに巻き取るスリット加工は、材料の薄膜化、複合化、狭幅化など多様な用途への応用が求められており、コンピュータの磁気テープやプリンタのインクリボンをはじめ、業務・個人向け問わず身近な機器に欠かせない技術である。

同社はスリット加工後の狭幅から広幅までの製品を精密な張力制御を行いながら巻き取ることができる巻取軸を開発した。さらに、部品点数が少なく狭幅に対応でき、ユーザーによるメンテナンスが



容易かつ長期使用に耐える点や、コアを固定する部品面を平滑に、発塵の少ない素材で構成し、加えてコア固定と巻取張力の供給エアを個別に制御することで部品とコアの間で粉塵の発生を抑えた点など優れた特長を備え、クリーンルームに対応かつ狭幅までの巻き取りを可能にした巻取軸の特許も取得している。この製品は、電子材料分野や光学分野のほか、食品用包装、工業用、民生用粘着テープに至るまで、さまざまな場面でのフィルム、金属箔の巻き取りに使用されている。狭幅でのスリットを行う場合にも安定した張力で巻き取りが可能であり、製品の取付け・取外しが容易となることから、生産効率のアップが期待できる。

フィルムなどの巻取軸以外にも、クランプ機構およびクランプ機構を利用する巻取軸など、さまざまな特許を保有する同社の技術力は折り紙つきだ。40mmまで自動的にスリッター幅を調節できる機械や、24時間自動でフィルムを切る機械も製造している。

お問い合わせは、電話または
Email:k.takani@koshinss.co.jp
で！

スリット幅自動設定機能搭載のスリッター

